

試験研究又は分析に用いられるモントリオール議定書附属書に
掲げる物質の使用用途証明書

経済産業大臣 殿

平成 年 月 日

(住 所)

(名 称)

(代表者役職名及び氏名)

印

試験研究又は分析に用いられることが確実であることを別紙の通り証明いたします。

なお、別紙記載の用途以外の用途では使用しないことを誓約いたします。

別紙

1. 試験研究又は分析に用いる者の氏名又は名称及び住所ならびに法人にあっては、その代表者の氏名
名称:
住所:
代表者の氏名:
2. 試験研究又は分析に係る設備及び貯蔵の場所
設備の場所:
貯蔵の場所:
3. 試験研究又は分析に係る設備の機能及び構造
4. 試験研究又は分析に用いる特定物質の種類及び使用予定年月
特定物質の種類:
使用予定年月:
5. 試験研究又は分析に用いる特定物質の入荷予定年月、入荷量及び入荷元
入荷予定年月:
入荷量:
入荷元:
6. 試験研究又は分析に係る反応生成物の種類ごとの数量及びその化学反応式
数量:
化学反応式:
7. 使用に係る反応の収率
8. 試験研究又は分析に使用した特定物質の数量

(記載例)

試験研究又は分析に用いられるモントリオール議定書附属書に
掲げる物質の使用用途証明書

経済産業大臣 殿

平成 年 月 日

東京都品川区東品川〇丁目△番□号

☆☆工業株式会社

代表取締役社長 日本 太郎 印

試験研究又は分析に用いられることが確実であることを別紙の通り証明いたします。

なお、別紙記載の用途以外の用途では使用しないことを誓約いたします。

(記載例)

別紙

1. 試験研究又は分析に用いる者の氏名又は名称及び住所ならびに法人にあつては、その代表者の氏名
名称：☆☆工業株式会社中央研究所
住所：東京都千代田区霞が関〇丁目△番□号
代表者の氏名：日本 太郎
2. 試験研究又は分析に係る設備及び貯蔵の場所
設備の場所：東京都千代田区霞が関〇丁目△番□号 ☆☆工業株式会社中央研究所〇棟△階◇号室内
貯蔵の場所：東京都千代田区霞が関〇丁目△番□号 ☆☆工業株式会社中央研究所〇棟△階◇号室薬品庫内
(注意：建物図面コピーがあれば、手書きで大まかな各場所を→にて表示いただき添付ください。
図面添付は無くても結構ですが、申請後に提出をお願いする場合がございます。)
3. 試験研究又は分析に係る設備の機能及び構造
〇〇法に基づくガスクロマトグラフ質量分析計(GC/MS)分析
4. 試験研究又は分析に用いる特定物質の種類及び使用予定年月
特定物質の種類：四塩化炭素、1,1,1-トリクロロエタン
使用予定年月：由 〇〇〇〇年〇月、至 〇〇〇〇年12月
(注意：使用予定期間は同一年内で記入願います。)
5. 試験研究又は分析に用いる特定物質の入荷予定年月、入荷量及び入荷元
入荷予定年月：〇〇〇〇年〇月
入荷量：1mL(四塩化炭素、1,1,1-トリクロロエタン 各100 μ g/mL 溶媒：メタノール/水=95/5) 2本
入荷元：(本製品の使用者ご購入元の代理店名を記載願います。)
6. 試験研究又は分析に係る反応生成物の種類ごとの数量及びその化学反応式
数量：ヘキサンで数段階に希釈し、0.001~0.1 μ g/mLの標準溶液とし、1回の分析でその1 μ Lを
ガスクロマトグラフ質量分析計(GC/MS)で定量分析する。
化学反応式：標準物質として使用するため、反応生成物はない。
(注意：分析の標準物質に用いられるような場合はこの記載で結構です。)
7. 使用に係る反応の収率
標準物質として使用するため、反応生成物はない。
(注意：分析用用途の場合はこの記載で結構です。)
8. 試験研究又は分析に使用した特定物質の数量
1mL(四塩化炭素、1,1,1-トリクロロエタン 各100 μ g/mL 溶媒：メタノール/水=95/5) 2本